

☆ ベトナム

繊維輸出 2016年の繊維品輸出額は300億ドルを視野に

Vietnam Textile and Apparel Association (VITAS: ベトナム繊維協会)によると、2016年上期は既に受注は好調で、2016年の繊維品輸出目標額は300億ドルの達成も可能であるとの見通しを示した。

同協会加盟企業へのアンケート調査によると、ほとんどの企業が、2016年に入っても好調な受注状況であり、一部企業はすでに通年で工場のフル稼働ができる見通しとなっている。ベトナムの2016年1月の繊維品輸出は前年同月比5.8%増の20億ドルとなった。

好調な輸出見通しの一方で、ベトナムの縫製企業のほとんどは自社で企画した製品を販売するのではなく、国際的なブランド企業の下請けであるため、自社の利益は少ないと指摘する。専門家によると、2015年の衣類輸出額は216億ドルであるが、そのうち70%が外資系企業の収益との見通しもある。ベトナム政府は、環太平洋パートナーシップ (TPP) など自由貿易協定が進む中、国内企業に財務面と技術面から支援を行い、繊維企業がバリューチェーンの川上から関与し、より多くの利益を稼得できるようにする必要があると主張している。

☆ 米 国

通商政策 米国化繊協会 (AFMA)、TPP 支持を表明

米国化繊協会 (AFMA) は、理事会において正式に環太平洋パートナーシップ (TPP) 協定を支持することを決定した。TPP は 2016 年 2 月 4 日にニュージーランドのオークランドにおいて 12 か国の代表によって署名された。AFMA は、ヤーンフォワードルールが原産地規則として採用されたことは米国の繊維・糸メーカーから TPP 支持の賛同を取り付ける上で非常に重要であったとしている。

TPP をめぐっては米国紡織品製造業者協会 (NCTO) もまた、支持を表明しており (海外速報 2016 年 1 月 30 日号)、AFMA は今後も NCTO とともに米国の繊維サプライチェーン全体の成功と繁栄を目指し、重要な公益性追求のために取り組んでいく考えを示した。

化繊生産**2015年の合繊生産、0.7%減の285万ト**

Fiber Organonによると、2015年の米国の合繊生産は前年比0.7%減の284.8万トであった。

品種別にみると、エアバッグ等に使用される産業用ナイロンFやカーペット用ナイロンF、産業用ポリエステルF、オレフィンSの落ち込みが大きかった。一方で、カーペット用ポリエステルFが続伸しているほか、モノフィラメント・スパンボンド・フィルムファイバーの増加でオレフィンFが増加し、合繊全体では前年比微減にとどまった。

ポリエステルSはファイバーフィル用、不織布用の出荷が増加したものの、カーペット用、紡績用が減少し、前年比0.7%減となった。

米国の品種別合繊生産

(1000ト)

	2014	2015	前年比%
ナイロンF	570.8	525.3	-8.0
産業用	74.7	57.6	-22.9
カーペット用	466.2	441.3	-5.4
紡織用	29.8	26.5	-11.2
ポリエステルF	635.6	649.8	2.2
産業用	101.2	74.3	-26.6
カーペット用	357.2	397.3	11.2
紡織用	177.3	178.2	0.5
オレフィンF	859.4	900.6	4.8
ポリエステルS	634.0	629.4	-0.7
オレフィンS	168.7	143.0	-15.2
合計	2,868.3	2,848.0	-0.7

(出所) Fiber Organon